金術加勞物勞類思報



編集・発行:金沢大学法学類広報委員会協力:金沢法友会法学類広報プロジェクト

年度最終号です。今号は合田法学類長のエッセイ(メッセージ)、法学部時代のOB北岡大介氏からのご寄稿、新しい法学類グッズの紹介です。読者諸氏の変わらぬご活躍を祈念するとともに、金沢大学法学類月報への変わらぬ温かいサポートをお願い申し上げます。

DE SANDE COMMUNICATION DE LE PROPERTO DE LA PROPERTO DEL PROPERTO DEL PROPERTO DE LA PROPERTO DEL PROPERTO DEL PROPERTO DE LA PROPERTO DEL PROPERTORITA DEL PROPERTO DEL PROPERTO

◆◆教員エッセイ◆◆

第39回 合田篤子先生(民法)

「花」といえば古くは梅を意味したようですが、古今和歌集が詠まれる頃には「桜」を意味 するようになり、以来、桜は、その儚げな美しさからか、広く日本人に愛されてきたのではな いでしょうか。

松尾芭蕉 45歳の作に「さまざまの事おもひ出す桜かな」という一句があります。桜の開花の時期は地域によって 1 か月以上のずれがあり、満開の桜にまつわる思い出は、みなさんそれぞれでしょう。この金沢では平年4月4日頃に開花し、4月10日頃に満開を迎えるそうです。確かに金沢育ちの私にとって、幼い頃から桜といえば、入学式や新学期のイメージがあります。しかしながら、今年は暖冬の影響か記録的な早さで開花し、金沢でも3月中には満開を迎える予想が出ています。

そして、将来、令和2年の桜の季節を思うとき、多くの方が新型コロナウイルスの影響で、 社会が混乱した日々を思い出すことになるでしょう。感染拡大を防ぐというやむに已まれぬ 事情があるとはいえ、多くのイベントがキャンセルとなり、法学類の学位記伝達式(卒業式)

も入学式も中止が決定しました。学位記伝達式は例年、

一人一人に学位記が手渡され、卒業生の新しい門出を祝 う大切な式典です。また、入学式も大学生活という新し い世界に一歩踏み出す新入生やご家族にとって大きな 節目となるはずでした。この原稿を書いている現在も、 日本はもちろんのこと世界の社会状況、経済状況が悪化 しているニュースが後を絶ちません。今年の桜を晴れや かな気持ちで迎えるのは難しそうです。

来年には新型コロナウイルスの問題が沈静化し、満開 の美しい桜を穏やかな気持ちで迎えられることを願っ てやみません。



2020年法学類グッズのご紹介



2013 年に初めて法学類グッズとして製作されたのは「携帯クリーナー」でした。 以降、手ぬぐい、付箋、風呂敷、クリアファイルなど、金沢大学法学類を広く知って

いただくための広報グッズが誕生してきました。そして 2020 年、新しい法学類グッズが仲間入りです!月報へのご寄稿が採用された方へも進呈いたします。

- ◆サコッシュ・紺
 - ちょっとしたお出かけにも使える A4 サイズ。いつもの紺とオレンジの配色で、ラテン語の法語「lus est ars boni et aequi. (法は善と衡平の術である)」を配置。
- ◆サコッシュ・生成り 財布やスマホ、ドリンクなどを入れるのに最適な小さめサイズ。キュートなカイチがアクセント。





◆珪藻土コースター

法学類の学類章をあしらった、ピンクと 水色の珪藻土コースター。どこか和の雰 囲気もあり、海外での評判も上々です。

「たまには書をもって、金沢の町並みを散策されたし」



後輩の皆さん、こんにちは。私は 95 年に卒業し、労働基準監督官として 5 年間、東京・北海道で勤務した後、北海道大学大学院・企業実務を経て、

今は都内で社会保険労務士として独立開業するとともに、時に大学で労働法の教鞭を執っています。たまに酩酊状況の中、東京駅で「21 時 4 分発 金沢行き」北陸新幹線の電光掲示を見上げると、痛切に金沢が懐かしくなります。桜咲き誇る城内キャンパス内で「リヴァイアサン」を精読した加藤喜代志ゼミ、真新しい角間キャンパスで労働法の手ほどきをして頂いた名古道功ゼミ、行政法の基礎をたたき込んで頂いた亘理格ゼミなど、金大法学部での優れた多数の講義・ゼミ経験は今でも自らの仕事や考え方の血肉となっていますが、何よりも懐かしいのが、東山などの金沢の古い町並みです。学生時分、時間があれば、岩波文庫を片手に一人散歩していました。その時、何を考えていたかは思い出せませんが、今から振り返れば、とても貴重な時間であり、自分の原点になっています。最近の金大法学部生は公務員試験、就職活動など何かと忙しいと聞いていますが、実は一見、無駄な時間が大事です。時に朝まで同級生とダラダラと議論したり、金沢の町並みを散策しながら古典を読んだ経験を有する金大の後輩が北陸3県に留まらず、全国で活躍する姿をぜひ見たいと願っています。

北岡 大介 (1995 年法学部卒業)



- ●法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- ●関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- ●本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。(http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo)また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課(n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- ●お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。